

— 西南学院大学 —

2月8日 文・法学部 英語

解答

I

- (a) 1 (b) 1 (c) 3 (d) 1 (e) 4
(f) 2 (g) 3 (h) 3 (i) 4 (j) 4
(k) 3 (l) 2

II

問 A 12, 14, 15, 18

問 B (d) 1 (f) 3 (g) 1 (h) 4

問 C (a) 3 (b) 4 (c) 4 (e) 2

III

- (a) 3 (b) 2 (c) 1 (d) 4

IV

- (a) loaf → loaves (b) best → better (c) exporting → exported

V

- (a) well (b) capable (c) whether (d) too

VI

- (a) anything (b) feelings (c) would (d) doubt (e) out

その他の大学・学部の解答解説はコチラ！

[増田塾 2019 解答速報ホームページ](#)

早慶上智・GMARCH・関関同立などをはじめとした難関大学の解答解説を随時公開していきます！

解 説

I

- (a) 1 do one's homework 「宿題をする」
- (b) 1 based on ～ 「～に基づいて」
- (c) 3 以下のように関係詞節になったもの。
fish can be classified into them→into which fish can be classified
- (d) 1 allow O to V 「O に V させる」
- (e) 4 A rather than B 「B というよりむしろ A」
- (f) 2 benefit 「恩恵、利益」
- (g) 3 unless ～ 「～しない限り」
- (h) 3 「草食の魚には胃にあたるものがないが、植物を消化する器官はある」
- (i) 4 「草食の魚は一日に数回餌を食べる。そういうものなので、一日のほとんどの間、家を離れている人にとっては(適さない)ペットである」
- (j) 4 「肉食と草食の魚の両方の特徴のうち、(いくつか)を持っている」
- (k) 3 in between 「中間に」
- (l) 2 feed A B 「A に B(餌など)を与える」

II

問 A

- 12, 14, 15, 18
- 11 第1段落第3文に反している。
- 12 第1段落第4文に合致している。
- 13 第2段落第3文に反している。
- 14 第2段落第7～8文に合致している。
- 15 第4段落第1～2文に合致している。
- 16 選択肢は「ワシントンの2つの大学」となっているが、第4段落第3文から Cornell University は Ithaca, New York にあることが分かる。
- 17 第5段落第2文に反している。
- 18 第4段落最終文の Texas Southern University と Howard University、第6段落最終文の Princeton University の計3大学。
- 19 第7段落第2文の wishes that her eyes were blue 「自分の目が青かったらと願う」という表現から、実際は青くはなかったことが分かる。
- 20 a total of ten が誤り。第7段落最終文から10冊より多く書いていることが分かる。
- 21 only one が誤り。第8段落第6文に反している。
- 22 two sons が誤り。第8段落第7文に反している。

問 B

- (d) 1 下線部は「自分の居場所を示す」という意味であり、選択肢 1「自分がどこに所属しているのかを理解する助けになる」が最も近い。
- (f) 3 focus A on B「A を B に集中させる」
- (g) 1 下線部は「いまだに世界中のオーディエンスに語りかけている」という意味であり、
選択肢 1「広い範囲の読者とその本のメッセージにひきつけている」が最も近い。
選択肢 2 について、Toni Morrison's fans に限った話ではないので不可。
- (h) 4 下線部は「自分たちの暮らしを形作るルールや価値観を新しく見直す」という意味であり、
選択肢 4「自分たちがなぜそういった行動をとるのか、なぜそういったことを信じるのかを再検討する」が最も近い。

問 C

- (a) 3 settle「住みつく」
- (b) 4 provide for ~ 「~を養う」
- (c) 4 work にも「機能する」といった意味がある。
- (e) 2 portray ~ 「~を描く」

III

- (a) 3 pop into one's head「(考えなどが)浮かぶ」
- (b) 2 if 節中で be to V 構文を用いると「もし SV するつもりなら」といった意志を表すことになる。
- (c) 1 仮定法現在 recommend that S (should) V「SV することを勧める」
- (d) 4 stand out「目立つ」

IV

- (a) loaf→loaves
two に合わせて複数形にする。
- (b) best→better
The 比較級～、the 比較級....「～すればするほど...」
- (c) exporting→exported
eggs と export は受け身の関係。

V

(a) well

might just as well take a taxi

might (just) as well V 「V したほうがよい」

(b) capable

a director capable of making different decisions

capable of Ving 「V することができる」という形容詞のまとまりが a director を後置修飾している。

(c) whether

time to decide whether or not

whether or not to V 「V するかどうか」

(d) too

it was much too tight a schedule

too ～ 「～すぎる」

too (so、as、how)のあとは tight a schedule のように“ 形容詞 + a + 名詞 ”という語順になることもポイント。much は副詞として too を修飾している。

VI

(a) anything

not+anything 「何も～ない」=nothing

(b) feelings

are に合わせて複数形にする。

(c) would

付加疑問文。wouldn't が否定形なので肯定形で受ける。

(d) doubt

doubt ～ 「～を疑う」=don't think

suspect ～ 「～を疑う」=think と区別することも重要。

(e) out

out of control 「手に負えない、制御できない」

その他の大学・学部の解答解説はコチラ！

増田塾 2019 解答速報ホームページ 

早慶上智・GMARCH・関関同立などをはじめとした難関大学の解答解説を随時公開していきます！